

平成 30 年度 第 1 回盛岡市立病院経営評価委員会会議録

○日 時：平成 30 年 11 月 7 日（水） 午後 2 時 30 分から午後 3 時 50 分

○場 所：盛岡市立病院 2 階会議室

○出席者：委員……小川委員長，和田副委員長，及川委員，佐藤委員，長山委員，福井委員，
二宮委員，渡辺委員

市立病院…病院事業管理者，診療部長，看護部長，事務局長，参与，事務局次長兼総務課長，医事課長，医事課長補佐，総務係長，経営企画係長，竹田主任，秋田主事

○委員会概要

1 開会：事務局次長

2 管理者あいさつ：管理者

3 議事

以下議事進行…議長・小川委員長

(1) 平成 29 年度の経営改善の取組状況について

別紙資料に基づき事務局長が説明。

(2) 平成 29 年度部門別アクションプランの取組状況について

別紙資料に基づき事務局長が説明。

(3) 平成 29 年度の取組についての評価案について

別紙資料に基づき事務局長が説明。

(4) 平成 30 年度の現状と主な取組について

別紙資料に基づき事務局長が説明。

(5) 第 4 次経営改善計画（素案）の骨子について

別紙資料に基づき事務局長が説明。

(6) その他

平成 29 年度包括外部監査の結果報告及び措置計画について，別紙資料に基づき事務局長が説明。

4 閉会：事務局次長

※議事内容についての質疑応答等発言は，下記のとおり。

【質疑応答】

小川委員長

【平成29年度の経営改善の取組状況について】

資料 1 ページから 5 ページについて事務局長が説明

ただ今の説明について，皆様から何かございますか。

佐藤委員	1 ページの2) (2)について、基幹型臨床研修病院の指定を受けたということですが、定員を2名にした理由は何かあるのでしょうか。
事務局長	国からの通知で、初年度は定員2名と決まっているため、そのとおりとしたものです。
佐藤委員	それはやむを得ないですね。なぜ質問したかと言いますと、募集人員は奇数のほうが学生の心理的に良いようです。2名よりは3名、4名よりは5名のほうがよいと思いますので、次回はそのように検討いただければと思います。
渡辺委員	まずは経常収支黒字ということでおめでとうございます。3ページについて特別損失の過年度損益修正損とはどのようなものなのでしょうか。
事務局長	これは毎年発生する金額で29年度は少し多かったのですが、2月・3月の診療報酬の査定減を2ヶ月遅れの4月・5月に処理するため、過年度損益修正損となるものです。
小川委員長	健診件数が減ったために収益は計画値を下回ったということですが、健診件数が減った理由は何かありますか。
事務局長	当院は全ての健診を一箇所で受けられるということが売りだったのですが、平成29年度は子宮頸がん検診をしていただける先生が確保できず、全く実施できなかったことから、件数が減ったものです。平成30年度は、おかげさまで医師も確保できたため再開しております。週2～3日実施しているところです。
小川委員長	子宮がん検診が再開したということによかったと思います。経常収益がプラスになったということは、皆さんの大変な努力の結果だと思います。 他になれば次の議事に進みます。
	【平成29年度部門別アクションプランの取組状況について】 資料6ページから9ページについて、事務局長が説明
小川委員長	ただ今の説明について、何かご意見等ございますか。
及川委員	9ページのNo. 38褥瘡発生患者数について、目標に対して実績値がとても多いと思いますが、何か要因がありましたら教えてください。
事務局長	この取り組みは継続して取り組んでいるものですが、以前は患者全体のう

ちの褥瘡発生率をパーセンテージとして用い、目標にしておりましたが、29年度はこれを見直して実数での目標としたところ、目標と大きく乖離してしまったというものです。30年度は目標値を見直して、取り組んでおります。

及川委員

過去の実績からして、6人という目標は妥当な数字だったのでしょうか。

病院事業管理者

近年、患者が高齢になっておりますし、施設から入院される方は既に褥瘡を持っている方もいます。この資料の表記では当院に入院したらどんどん褥瘡が発生してしまったというように見えてしまいますが、そういうわけではありません。「褥瘡発生患者数」は当院に入院している中で発生した数となりますが、この数字は、もともと褥瘡を持っていた方も含まれている数字かと思えます。誤りかもしれませんので、再度確認してお知らせしたいと思います。

【平成29年度の取組についての評価案について】

資料10ページについて事務局長が説明

小川委員長

これは当委員会から評価として公表するものですので、本日より重要な議事となります。先ほど説明いただいた経営改善の努力、費用、そしてアクションプラン等々について書かれているわけですが、評価案について、皆さんから何かご意見等ありましたらお願いいたします。

長山委員

29年度の決算について総額を書いたほうがよいのではないかと思います。収益合計では、4億いくらかで前年度に比べどうだったか、費用合計では4億いくらか、というふうに説明していただいたほうが分かりやすいと思います。

事務局長

そのように修正いたします。

小川委員長

その他ご意見がないようですので、ただ今の長山委員の意見について多少文言の修正をした上で、この評価案については決定としてよろしいでしょうか。

各委員

異議ありません。

【平成30年度の現状と主な取組について】

資料11から14ページについて事務局長が説明

小川委員長

ただ今の説明について、皆様から何かございますか。

福井委員	今年度、市立病院では脳神経外科の新設や、子宮頸がん検診を再開しましたが、市民はこういった情報をどのように知ることができるのですか。
病院事業管理者	市民へは広報もりおかを中心にアナウンスしております。しかし、宣伝不足である部分も認識しております。市民に直接伝える効果的な宣伝方法について、今後検討したいと思っております。
長山委員	定員管理の点で、看護師が不足している現状に対し対策を講ずる必要があると考えられます。1つの案ですが、看護実習生などの受け入れについて、丁寧にやっていくことで、クチコミも相まってここで働きたいと思う学生が多くなると思いますがいかがでしょうか。
病院事業管理者	病院の中心は看護師であり、非常に重大な課題だと思っております。市医師会と密着し、准看護学院の学生を全面的に受け入れりましたが、和田先生などのご協力をいただき高看の学生も受け入れするようになってまいりました。詳細は、看護部長から説明いたします。
看護部長	市立病院では、既卒看護師が比較的多く入職する傾向が強いので、新卒看護師が入り易くするよう努力しております。以前は盛岡市医師会の看護学生のみ受け入れておりましたが、医師会にご協力を頂いて前期は医師会、後期は看護師課程の看護学生を受け入れております。平成28年に1校、29年に2校、30年度からは4校と受け入れ数を増やし、実習指導に力を入れています。当院は小学生から大人まで、外部からの見学や実習が多いので、看護師からの不満もなく順調に実施できています。先生のお話のとおり、実際に体験してもらい当院の良さを認識してもらおうように努力しております。
和田副委員長	医師会・看護学院の学生がお世話になり大変感謝しています。市立病院の実習の丁寧さについては、十分だと思っております。もし、病院の規模がもう少し大きくなっていくのならば、さらに周辺の看護学生が受け入れられるので、今後とも頑張っていたきたいと思えます。
二宮委員	市立病院では、平成29年度から呼吸器内科の先生が1名増になり、実情として周辺の医療機関では、岩手医大、県立中央病院以外になかなか呼吸器患者を受け入れしてもらえなかったのが、市立病院に入院対応等をしてもらい大変助かっています。この場をお借りして感謝申し上げます。
佐藤委員	市立病院は、医大・県中から開業医院・介護施設などの様々な機関の間に立ち、非常に良いパイプ役を果たしていると思えます。そこで、市立病院の「在宅医

療」に対する立ち位置をお伺いしたい。自宅での看取りの時代を踏まえ、どのようなスタンスで臨んでいきますか。

病院事業管理者 13ページの⑤にありますように「患者連携支援センター」を掲げて、訪問診療を進めていく予定です。しかし、市内で訪問診療を中心に行っている医療機関と競争するのではなく、当院は連携し、サポートするスタンスで取り組んでいきたいと思っています。現時点では実施しておりませんが、いずれ実施したいと思います。

佐藤委員 市立病院には精神科があり、他にない特徴がある。一般の訪問診療所では、この領域を扱うことができないので、市立病院の強みだと思います。マンパワーの問題はありますが、訪問看護することで精神科患者の入退院を減らすことに成功している事例があります。地域への貢献の意味合いでも、頑張ってもらいたいと思います。

病院事業管理者 当院は「時々入院・ほぼ在宅」をモットーとしています。患者さんに喜んでもらえるような訪問診療を実現していきたいと思います。

渡辺委員 入院の診療単価が昨年度と比較して、2,000円ほど高くなっているように見受けられます。何か要因はありますでしょうか。

事務局長 1つの要因として、泌尿器科の先生が2名体制になったことです。10月までの前年同期の手術件数と比較しますと、138件から187件と増加しています。その他、整形外科・外科・眼科も含めた全体の手術件数が677件から771件となり、14%増加しましたので、単価の向上に寄与しております。また、地域包括ケア病棟の稼働の向上が単価の増加につながっていると考えております。

渡辺委員 市立病院はサブアキュートとポストアキュートでは、どちらの患者が多いのですか。

病院事業管理者 当院はサブアキュートの患者が多い状況です。国としても、急性期病院から転院するポストアキュートの受け入れよりも、地域の診療所等から紹介されるサブアキュートを受け入れすることを重要と捉えており、国の指針と一致しております。

渡辺委員 サルコペニア等の患者の受け入れを積極的にしているとありますが、貴院はこうした患者さんの栄養・運動機能の改善に資していると思います。話しが飛躍するかもしれませんが、このような取り組みにより、夜中に救急車で運ばれる方の

数を減らし、医療スタッフの負担の軽減や勤務環境の改善にも繋がると思います。

病院事業管理者 高度先進医療病院の周りにある病院は、総合的に生活支援ができる病院になるべきだと思っております。その中で先生がおっしゃったサルコペニア等の患者に対し、リハビリや栄養面のサポートをしなければならないと思います。

小川委員長 14ページ(3)の②で「国保市町村医師養成事業」とありますが、この事業について具体的に教えてください。

事務局長 県内には3つの奨学金関係の事業があるようでして、そのうち1つの国保連が主体となって実施している事業で奨学生は6年間、該当する県立病院や市町村病院に勤務すると奨学金が免除されます。現在、当院ではこの制度を利用した先生が1名配置されております。

病院事業管理者 ちなみにこの先生は、岩手医科大学の小児外科に所属しており、頻繁に医大に行かなければならず、当院で働くことが先生にとっても都合が良いということで配置していただきました。

【第4次経営改善計画（素案）の骨子について】

別紙資料に基づき事務局長が説明

小川委員長 ただ今の説明について、皆様から何かございますか。無ければ私から1つ申し上げます。まず、岩手医大付属病院の矢巾移転に伴う対応について盛り込んでいただき、ありがとうございます。現在、医大にある約1千の病床のうち、ICU、CCU、ハイケアユニット、回復期リハなどの特殊病床が今後増えるので、結果、一般病床数が減る予定であります。よって、それをサポートしていただく他病院の役割が重要になってきます。内丸メディカルセンターも規模の縮小でマンパワーが不足することが予想されますので、周辺の病院には1次・2次救急についてもサポートしてもらえることはありがたいです。

和田副委員長 地域包括ケアに取り組んでいただき、市医師会としても大変感謝しております。今後、人口動態や疾病構造も変化していくことが予想されます。現在、緩和ケアの専門医が非常に少なく、がん等に取り組むだけで精一杯であります。心不全等の緩和ケアの需要がこれから増加すると思われれます。そこで、外来の段階からある程度緩和ケアに取り組んでいく必要があると考えます。県医師会では、今年度からACPアドバンスケアプランについて事業として取り組んでおり、今後は医療者への教育、一般の方への普及啓発・啓蒙をしてきます。改善計画に盛り込

むかは別にしても、ぜひ参加していただきたいと思います。

看護部長 ありがとうございます。当院には緩和ケアの認定看護師がおり、緩和ケアに関するリンクナース会を立ち上げ、その充実を図っているところです。また、ACPアドバンスケアプランの研修会にも職員を参加させています。今後とも一生懸命取り組んでまいります。

【その他について】

平成29年度包括外部監査の結果報告及び措置計画について、別紙資料に基づき事務局長が説明

小川委員長

ただ今の説明について、皆様から何かございますか。

なければ、最後に私の方から失礼いたします。平成28年度と29年度の純損失額を比較すると1億円以上改善されています。これは、この委員会の皆様や、市立病院の職員の皆様の大変なご努力、創意工夫により、果たされたものだと思います。委員会としても大変嬉しく思いますので、今後とも頑張っていたきたいと思えます。

他になければ以上で終わります。